

6月1日(水)
令和4年(2022年)

発行所
〒112-0002
東京都文京区小石川5-4-4
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京03(5842)8750番
振替 00120-9-56573番
<http://www.coatingmedia.com>

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル

バイオニーズの 高まりに対応 大成ファインケミカル

UV硬化型ハードコートを成長事業に位置付ける大成ファインケミカル。ディスプレイ向け材料を取り巻く環境について担当者は「コロナ禍で多少の遅れはあるが、開発に対するモチベーションは失われていない」と説明。有機ELやフレキシブルディスプレイに向けた開発検討が続けられている。

その中で、高硬度、高屈曲性を両立したUV硬化型有機-ハイブリッド材「STR-SiAシリーズ」の本採用が加速。「ディスプレイ向けに限らず、フィルム用など用途も多岐にわたる」と需要に広がりが見られている。

一方、今年から営業展開として訴求を強めているのが、バイオマス製品の提案。「SDGsやESGを背景にバイオ製品の開発マインドが確実に高まっている」とコメント。関連製品の引き合いが増えているという。

現在、バイオマス製品として上市するのは、アクリルポリマー「1BX-001」、アクリルポリオール「6BX-002」、UV硬化型ウレタンアクリレート「8UX(バイオマス)」の3製品。「1BX-001」は、バイオマス度32.7%のアクリル樹脂で要望に応じて最大50%のバイオ化度が可能。バインダー樹脂のバイオ付与として幅広い用途に適応する。

「6BX-002」は、バイオ度16.4%のアクリルポリオール樹脂で最大30%のバイオ化度が可能。イソシアネートブレポリマーとの併用で塗膜物性の向上に寄与する。「8UX」もバイオ成分の付与を目的とした使用に対応。無溶剤タイプの設計にも対応し、機能性ハードコートの環境性を向上する。